86269 RE/RK説明書 リビング

「株式会社綾野製作所・リビングキャビネット」

# 商品マニュアル



※お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店様までお尋ねください。 組立・設置の前に必ず「安全上のご注意 | 及びこの「商品マニュアル | をお読みのうえ、正しくお使いください。

# 連結方法 上・下キャビネット[カウンター天板一体式構造]

お手数ですが、キャビネットの連結を宜しくお願い致します。

#### 上下キャビネットの連結方法

- ①下キャビネットの両側に位置合わせのための「木ダボ」を差し込みます。
- ②下キャビネットの[木ダボ]に合わせて上キャビネットをのせます。
- ③下から[連結ボルト]を[六角レンチ]でしっかりと締め付けます。

# キャビネットの左右連結方法

- ①左右のキャビネットを、連結穴の位置が合うようにセットします。
- ②[連結ボルト]と[連結ナット]を左右から取り付けて、ドライバーでしっかりと締め付けます。
- 連結がしづらい時は引出しを取り外してください。
- 引出しの取り外し方は、
- 本紙裏面「引出しの取り扱い方法」をお読みください。
- ③[連結ボルト]と[連結ナット]の頭部に[連結キャップ]を取り付けます。
- ④連結の必要がない連結穴には「穴カクシ」を取り付けます。

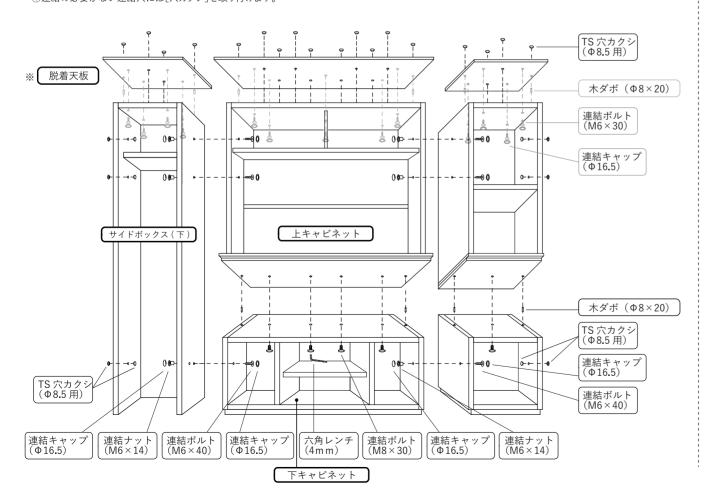
#### サイドボックスの左右連結方法

- ①左右のキャビネットを連結穴の位置が合うようにセットしてください。
- ②[連結ナット]と[連結ボルト]を左右から取り付けてドライバーでしっかりと締め付けてください。
- ③[連結ボルト]の頭部に[連結キャップ]を取り付けます。

#### ※脱着天板について

上キャビネットと脱着天板は、連結された状態で出荷されています。 LEDの交換以外の用途では外さないようお願いします。

LEDの交換方法は該当品番に付属している別紙「LED説明書」をお読みください。 ※上部に上置を設置しない場合は「穴カクシ」を取り付けてください。



# 設置について キャビネット設置時の水平調整

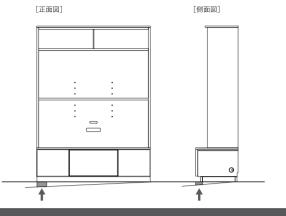
キャビネット設置時には家具が水平になるように 調整をおこなう必要があります。

設置する場所によっては微妙な傾斜がありますので、家具にねじれが発生し 扉や引出しの隙間が揃わない場合がございます。

設置した際に扉や引出しの隙間が大きく出ている場合には、床面の傾斜が大きい可能性があるので、家具が水平になるように調整をおこなってください。

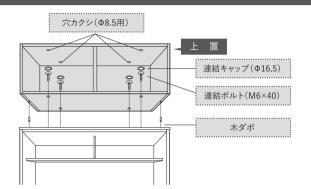


調整には[硬い板材]や[紙]などを使用してください。 必ず2人以上で作業をおこなってください。



# 連結方法 上置・ガラス上置

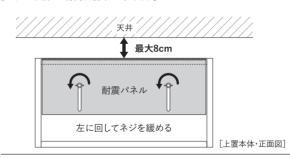
- 1 上キャビネットに[木ダボ]を差し込み、上置をのせます。
- ② [連結ボルト]を上置から上キャビネットに差し込み、 ドライバーでしっかりと締め付けます。
- 3 [連結ボルト]の頭部に[連結キャップ]を取り付けます。
- (4) 上置・ガラス上置には左右連結穴があります。 左ページ[キャビネットの左右連結方法]を参考に、 左右連結をしてください。



# 取り扱い方法 耐震パネル付き上置

#### 耐震パネルの解除

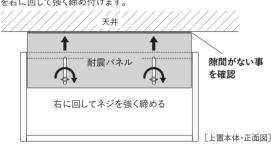
ネジを左に1~2回まわし、耐震パネルがスライドできるまで緩めます。 ※耐震パネルと天井との隙間は最大8cmまでです。



#### 耐震パネルの設置

耐震パネルを天井までスライドさせます。

天井に左右均等に突っ張らせ、耐震パネルの間に隙間がない事を確認し ネジを右に回して強く締め付けます。



•

1週間後に耐震パネルと天井との間に隙間がないか、ネジが緩んでいないかの点検をお願いします。安全のため、1年ごとの点検をおすすめします。

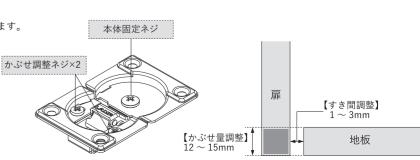
# 取り扱い方法 ドロップ蝶番の調整方法 (LB品番のみ)

3方向の調整ができるドロップ蝶番です。 ドロップ蝶番は **LB 品番のみ**に搭載されております。

[**かぶせ調整ネジ**]を緩めると、かぶせ量調整が **12~15mm**の範囲で行えます。

【本体固定ネジ】を緩めると、すき間調整が1~3mmの範囲、左右調整が ±1mm の範囲で行えます。

※各ネジの調整はカバーを取り外して行ってください。



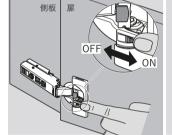
# 取り扱い方法 開き戸

### 開き戸蝶番の調整方法

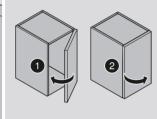
開き戸の蝶番にはアルミフレームと板扉共に、「ブルム社製」を使用しています。下図を確認のうえ、対応した調整をおこなってください。

# 扉の前後調整方法 扉の左右調整方法 扉の上下調整方法 調整可能範囲 調整可能範囲 調整可能範囲 ±2mm ±2mm ±2mm 上下調整ネジ - PEO | - 脱着レバ-前後調整ネジ 左右調整ネジ (1) [前後調整ネジ]をゆるめます。 (1) [左右調整ネジ]をまわして (1) [上下調整ネジ]をまわして 扉の位置を調整します。 扉の位置を調整します。 (2) 扉を前後に動かします。 ※ネジは扉のズレ防止のため固くなっています、 (3) [前後調整ネジ]をしめます。 大きめのドライバーで調整をおこなってください。

# 板扉用蝶番 ソフトクローズ機能のON.OFF調整方法



ソフトクローズ機能のON.OFF方向



扉の開閉

板扉用蝶番のみの機能です。アルミフレームには付属しておりません。 扉の閉まる速度が気になる方は調整してください。

- ・扉側にスイッチを動かすとソフトクローズ機能ON
- ・側板側にスイッチを動かすとソフトクローズ機能OFF
- ・スイッチを切り替えた後、扉を一度開閉してください。 機能が切り替わります。

# 取り扱い方法 引出し

# [木製クワドロ引出し]

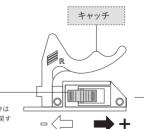
# 微調整方法

キャッチには、前板の微調整機能があります。 キャッチにあるダイアルを回すと、左右それぞれ 必要に応じて、前板を上に上げることができます。

※この調整は、レールと引き出し底板との間にクサビを 差し入れる構造のため、前板を下に下げることはできません。

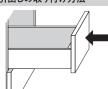


ダイアル ※マイナス方向へのダイアル操作は 微調整した前板を元の位置に戻す 際に使用します。



【図は右用です。左用は逆向きになります。】

# 引出しの取り付け方法



引出しは、キャッチを使用して簡単にレールに 取り付けすることができます。

取り外した引出しをレールに乗せて押し込みます。 その際に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。 正常に取り付けされていない状態で使用すると、 引出しが脱落する恐れがあります。

# 取り外し方法

キャッチには引出しを取り外す機能があります。 引出しをレールから取り外す際は、左右のキャッチに 指をかけて、まっすぐ引いてください。



【引出しの裏面左右にキャッチがあります。】

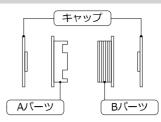
#### プッシュオープン引出し

プッシュオープン機能付きの引出しは、図を参考に 前板中央付近を押して使用してください。

押す

# 取り扱い方法 両面配線孔

### パーツ構成



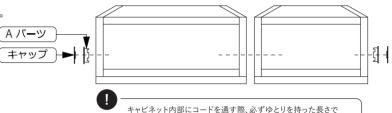
●部品袋に一体型で梱包されている両面配線孔を取り出し、左図の様に各パーツを 分けて使用します。Aパーツは固定用、Bパーツは取り外し用となります。 リビング当商品ではBパーツは使用しません。



リビングの下キャビネット、ローボードにはAパーツのみ使用します。 キャビネットの内部には配線孔をとりつけないでください。

# 取り付け方法(リビング下キャビネット、ローボード)

- ◎下キャビネットの左右連結時は、左右の端側に くるキャビネットの外側にのみ取り付けてください。
- ◎左右連結をしない場合は本体外側に Aパーツを取付け完成です。
- ※Aパーツを取り付ける際、
- 必ず最後まで押し込んでください。 レールや内箱と干渉する原因となります。
- ※外側のAパーツはキャビネットが壁に密接する場合、 取り付けずに使用できます。



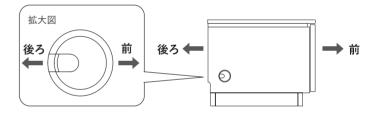
ご使用ください。 コードが突っ張った状態ですと、コードとレールが干渉する 恐れがあります。

# 取り付けの向き

◎配線孔の開口部は、

後ろ方向に向くように取り付けてください。

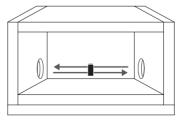
※正しい向きで使用しないと コードとレールが干渉する原因となります。

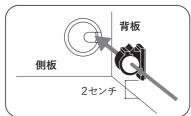


# 取り扱い方法 ケーブルクリップ

下キャビネット、ローボードにはコード通しの補助のための ケーブルクリップが付属しています。

- ◎内引き出しを外し、背板の中央の下から2センチほどのところに ケーブルクリップを貼り付けてください。
- ◎ケーブルクリップにコードを通してご使用ください。
- ※コードとレールが干渉する可能性がありますので 必ずケーブルクリップをご使用ください。





# 取り扱い方法 チップオン(プッシュラッチ)

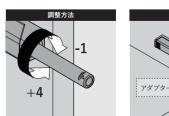
扉は軽く押すだけで簡単に開き、適度な角度まで開いて止まります。 扉を押しても開かない場合は、

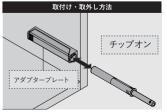
チップオンを左右に回して調整してください。

面付けと埋込み式の2種あります。

下図は面付けの図ですが、埋込み式も同様の調整方法です。

- ・左に回すとチップオンが前に出てきます。
- ・右に回すとチップオンが引き込まれます。
- ·調整は+4/-1mmの範囲で可能です。
- ・チップオンをアダプタープレートに取付け、取外しができます。





※似たような機構で ダンパータイプ(ソフトクローズ機能)のものもあります。 そちらには調整機能はありません。 不具合の場合は、引き抜いて交換してください。